

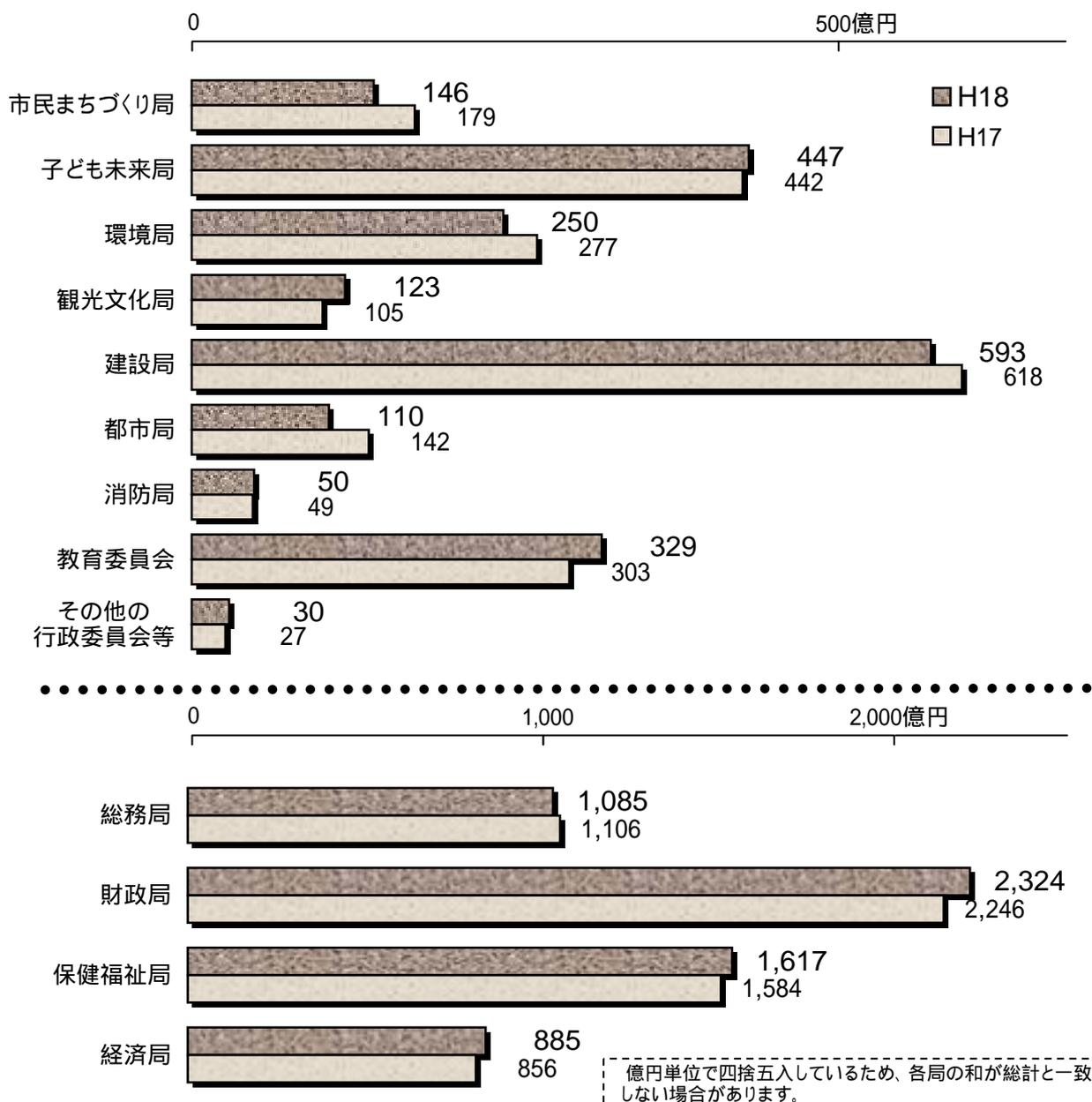
平成18年度 各局予算要求の概要

1 予算要求総額(一般会計)

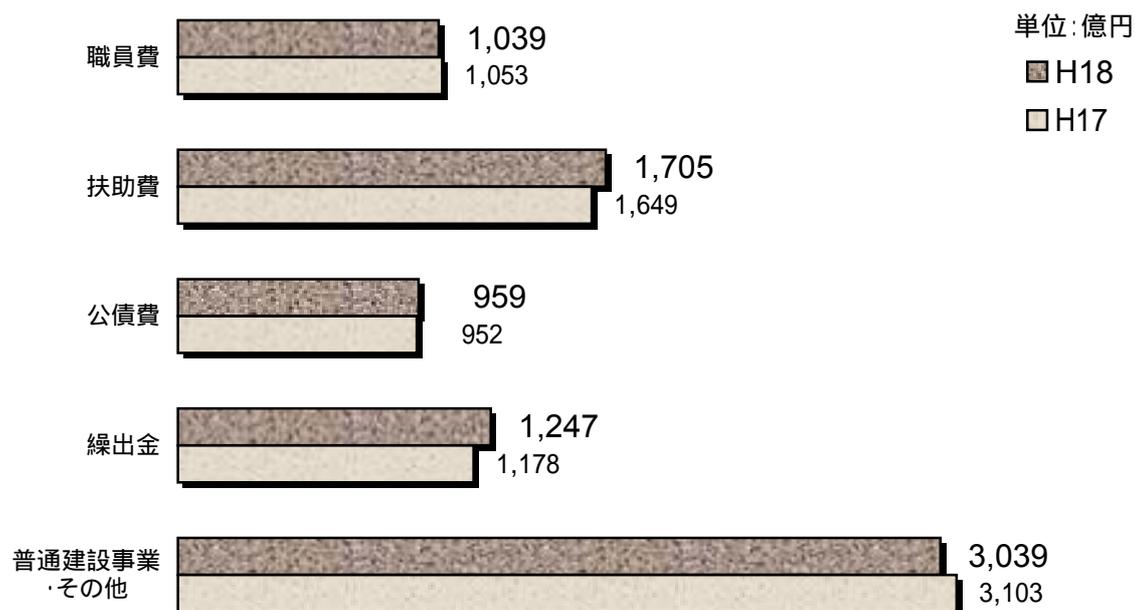
H18予算要求総額	7,989 億円	前年度予算対比	+54 億円
(H17当初予算総額	7,935)		+0.7 %

2 17年度当初予算との比較

(1)局別比較



(2) 経費の性質別比較



3 特別会計の要求状況

単位: 百万円

	H17	H18	増減	増減率
土地区画整理	8,418	7,148	▲ 1,270	▲ 15.1
団地造成	147	135	▲ 12	▲ 8.2
駐車場	350	338	▲ 12	▲ 3.5
母子寡婦福祉 資金貸付	271	260	▲ 11	▲ 4.1
国民健康保険	177,911	187,432	9,521	5.4
老人医療	181,969	182,091	122	0.1
介護保険	84,195	86,371	2,176	2.6
基金	959	968	9	0.9
公共用地先行取得	710	0	▲ 710	▲ 100.0
砂防用地先行取得	460	103	▲ 357	▲ 77.6
交通災害共済	45	0	▲ 45	▲ 100.0
特別会計合計	455,435	464,846	9,411	2.1

特別会計合計には公債会計を含まない

4 各局予算要求の概要 p.3 ~ p.14のとおり

総務局

要求総額 108,524百万円
(対前年度 1.9%)

< 要求の基本的考え方 >

「さっぽろ元気ビジョン」実現に向けたこれまでの取組の成果を、多くの市民の皆さんが共有できる実感に広げるための予算要求を行う
効率化と重点化を基調とした予算要求を行う。

	一主要事業一	要求額(百万円)
中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援	首都圏市場開拓イニシアティブ事業	12〔東京事務所〕
協働による観光振興とコンベンション事業の推進	首都圏シティPR事業	27〔東京事務所〕
その他	出資団体評価システム推進	1〔市政推進室〕
	本庁舎高層階エレベーター改修工事	50〔行政部〕
	文書システム運用管理事業	135〔行政部〕
	市民満足度調査	5〔広報部〕

：新規事業 ：レベルアップ事業

● 市民満足度調査の実施

～ 施策・事業の成果の把握～

市民満足度調査

施策や事業の成果や効果を把握するために、市民の満足度に関する市民アンケート調査を実施します。
調査結果は行政評価の中で活用し、施策や事業の改善に役立てていきます。



● 本庁舎高層階エレベーター改修工事

本庁舎エレベーター改修工事

昭和46年の竣工以来、34年を経過して老朽化が著しい市役所本庁舎の高層階エレベーターの改修工事を実施します。(18年度2基、19年度2基)



● 首都圏シティPR事業

首都圏シティPR事業

首都圏で積極的に札幌市をPRするため、JR山手線など公共スペースで観光PR映像を放映したり、札幌の物産等を紹介する集客イベントを開催します。



< 主な見直し項目(効果額) >

・人件費の見直し	1,388百万円
・一般事務費の削減	165百万円
・施設運営管理費の見直し	11百万円
・公用車購入経費の節減	1百万円
・市民見学会業務の廃止	5百万円

市民まちづくり局

要求総額 14,562百万円
(対前年度 18.6%)

< 要求の基本的考え方 >

既存の市街地やインフラを再生・活用し、環境との調和を図りながら、コンパクトな市街地の形成を目指す。
市民と行政が情報を共有し、対話を通じて市民が積極的に市政に参加できるような環境の整備をすすめる。

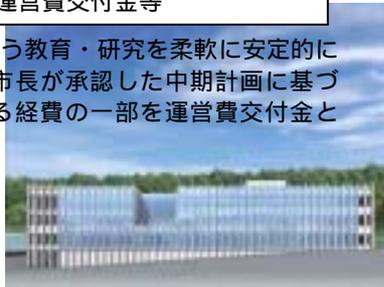
	— 主要事業 —	要求額 (百万円)	
魅力あふれる地域づくりの推進	元気活動創出事業	11	〔地域振興部〕
	まちづくりセンター整備	22	〔地域振興部〕
	(仮称)清田区地区センター建設事業	156	〔地域振興部〕
	市民との協働による都市計画制度普及事業	3	〔都市計画部〕
歩いて暮らせる快適で美しい街の創造	都心交通調査事業	55	〔企画部〕
	道路交通調査	114	〔総合交通計画部〕
	路面電車存続方策検討	18	〔総合交通計画部〕
市民まちづくり局独自重点事項	札幌市立大学運営費交付金等	1,785	〔企画部〕
	DV対策推進事業	15	〔市民生活部〕
	汎用施設予約システム整備事業	60	〔情報化推進部〕

：新規事業 ：バリエアップ事業

● さっぽろを支え、発信する人づくり

札幌市立大学運営費交付金等

札幌市立大学が行う教育・研究を柔軟に安定的に実施できるよう、市長が承認した中期計画に基づく大学運営に要する経費の一部を運営費交付金として措置する。



● 歩いて暮らせる快適で美しい街の創造

道路交通調査

将来交通体系のあり方を検討するため、「人の動き」を目的(通勤・通学・私用等)・手段(鉄道・バス・自動車等)別に把握するパーソントリップ調査を実施する。



調査へのご協力をよろしくお願ひ致します。



● 魅力あふれる地域づくりの推進

元気活動創出事業

市民の有する力を活かすモデル事業の展開や、市民活動促進条例の制定に向けた市民意見の集約、市民活動促進プラン策定に向けた市民議論を深める。



● 市民まちづくり局独自重点事項

汎用施設予約システム整備事業

市民の施設利用予約を一層容易にするために、インターネット等から本市の公共施設を予約することが可能になるようなシステムの開発を行う。

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減	67百万円
・施設運営管理費の見直し	165百万円
・受益者負担の適正化	12百万円
・団体補助金の見直し	3百万円

保健福祉局

一般会計要求総額
161,720百万円
(対前年度 +2.1%)

< 要求の基本的考え方 >

高齢者、障がいのある人、子どもをはじめ、誰もが互いに理解し尊重しあいながら、地域の中でふれあい、支えあって、安心して生きいきと健康に暮らせる地域社会の達成のため、保健福祉サービスの充実を図る。

魅力あふれる地域づくりの推進	一主要事業一	要求額(百万円)
	福祉のまち推進センター補助	82〔総務部〕
少子化対策の推進	児童虐待発生予防・育児支援強化事業	8〔健康衛生部〕
	不妊治療支援事業	111〔健康衛生部〕
地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進	高齢者保健福祉計画等進捗状況調査	6〔保健福祉部〕
	障がい者「元気ショップ」運営事業	47〔保健福祉部〕
	はつらつシニアサポート事業	60〔保健福祉部〕
	全身性重度障がい者24時間介護体制の確立	100〔保健福祉部〕
	障がい者グループホームの拡充	943〔保健福祉部〕
	福祉除雪事業	88〔総務部〕
	「2015年の高齢者介護」推進事業	10〔保健福祉部〕
	地域療育等支援施設事業	75〔保健福祉部〕
	地下鉄駅エレベーター等整備	1,129〔保健福祉部〕
地域での健康づくりの推進	「健康さっぽろ21」推進事業	9〔健康衛生部〕
	「食育」推進事業	2〔健康衛生部〕
	ヘルシーコミュニティ促進事業	15〔健康衛生部〕
	たばこ対策事業	4〔健康衛生部〕
その他	高齢者のための施設の整備	813〔保健福祉部〕
	(仮称)第2斎場サービス購入費	1,200〔健康衛生部〕

：新規事業 ：バリエーション事業

障がい者

『元気ショップ』

障がいのある方の活動の発信の場に！

障がいのある方が利用する授産施設や作業所で作られた製品を販売する店舗を、都心部に設置します。

● 18年度で全駅着手へ！

地下鉄駅エレベーター整備

平成18年度は1駅(中島公園)で竣工、2駅(南郷7丁目・北18条)で工事着手、3駅(中の島・北12条・バスセンター前)で設計着手となる予定です。

これで、すべての地下鉄駅でエレベーター整備に着手することになります。

● 障がい者支援費制度の拡充

身体障害者居宅介護事業

最重度の全身性重度障がいのある方に対する居宅介護サービスの利用時間を、引き続き拡大し24時間介護体制を確立します。

【利用上限】

平成15年度 14時間/日
平成16年度 17時間/日
平成17年度 20時間/日
平成18年度 24時間/日

(目標到達)

● 本市初のPFI事業

これからの火葬需要への対応、市民の方々の利便性、災害時の対応などを考慮し、本市第1号のPFI事業により手稲山口地区に建設中の(仮称)第2斎場が平成18年4月1日に開場します。

PFIとは?

(private finance initiative)

プライベート・ファイナンス・イニシアチブ。これまでの公的部門による社会資本の整備・運営に民間資本や経営ノウハウを導入し、民間主体で効率化を図ろうとする政策手法。

はつらつ

シニアサポート事業

高齢者の社会貢献活動に結びつけるきっかけとなるような、NPOや高齢者団体などの自主的な運営による、新しい時代の高齢者生きがい活動に対しての支援を行います。



< 主な見直し項目(効果額) >

・人件費の見直し	104百万円
・一般事務費の削減	78百万円
・施設運営管理費の見直し	66百万円
・施設等の運営費補助の見直し	89百万円
・受益者負担の適正化	2百万円

特別会計

保健福祉局では、上記の一般会計の他に、3つの特別会計を有しています。

国民健康保険会計(予算要求額 187,432百万円)

国民健康保険料について一部の世帯に負担が偏ることのないよう、広くバランスよく分かち合っていける方式に変更する予定です。また、収納対策強化のため平成16年度より一部の区に試験的に導入した保険サービス員制度を全市で実施します。

介護保険会計(予算要求額 86,371百万円)

平成18年度からは、現行の在宅や施設のサービスの他、介護予防や地域密着型などの新たなサービスを導入し、高齢者の自立を支援していきます。これらのサービスの利用予定者数は約46,600人です。

老人医療会計(予算要求額 182,091百万円)

国民の老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため、疾病の予防、治療、機能訓練等の保健事業を総合的に実施しております。

子ども未来局

要求総額 44,724百万円
(対前年度 + 1.1%)

< 要求の基本的考え方 >

すべての家庭が安心して子育てができるよう、(仮称)区子育て支援センターを開設し、社会全体での子育て支援の展開を図る。
子どもたちが心身ともにたくましく育つよう、参加型の体験活動事業の充実を図る。

	－主要事業－	要求額(百万円)
少子化対策の推進	(仮称)区子育て支援センター整備	169〔子育て支援部〕
	ミニ児童会館整備事業	67〔子ども育成部〕
	私立保育所新・改築費補助	791〔子育て支援部〕
	認可保育所整備促進事業	20〔子育て支援部〕
	延長・一時保育事業費補助	1,001〔子育て支援部〕
	少子化対策普及啓発事業	10〔子ども育成部〕
自立した市民に育てる教育の推進	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業	9〔子ども育成部〕
	子どもワンダーランド事業	2〔子ども育成部〕
	子どもの権利推進事業	18〔子ども育成部〕

：新規事業 ：レベルアップ事業

● 子育てをサポートする区の拠点を整備

(仮称)区子育て支援センター整備
(豊平区・西区・手稲区・東区)

すべての子育て家庭に対する支援の充実を図るため、保育機能のほか常設の交流スペースや相談・支援機能を有する施設を開設します。
(豊平区・西区・手稲区は18年4月、東区は19年4月に開設。)



● みんなで参加しようよ！

さっぽろ夢大陸「大志塾」事業

子どもたち自身が希望する活動を自分たちで企画し、お互いに協力しながら、自分たちの力で体験活動を実施できる場を充実させます。

子どもワンダーランド事業

札幌市在住の外国の方との交流を通じて、相互の文化・習慣・考え方の違いを体験し、国際理解と子どもたちの健全育成を促進します。

● 保育所定員増と延長保育等の拡大

待機児童の解消を目指し、私立保育所の新・改築を積極的に進めます。

計510人増えるよ！

私立保育所新築費補助	2か所
私立保育所改築費補助	4か所
認可保育所整備促進事業	4か所

多様な保育ニーズに応じていくために、延長保育、一時保育の実施園を拡大します。

延長保育事業	12か所増
一時保育事業	11か所増

● 子どもの権利条例の制定に向けて

子どもの権利推進事業

検討委員会での活発な議論
全市フォーラム開催
子どもフォーラム開催
市民研修会実施
子ども議会開催

18年度中に制定します！

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減	92百万円
・施設運営管理費の見直し	27百万円
・児童会館占用使用に対する使用料徴収	13百万円
・子ども電話相談事業の見直し	9百万円

環境局

要求総額 24,972百万円
(対前年度 9.8%)

< 要求の基本的考え方 >

「世界に誇れる環境の街さっぽろ」の実現に向けて「水とみどりのうらおいと安らぎのある街の実現」と「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を柱に据え、事業の優先付け・重点化を図る。

地域での高齢者・障害者の自立支援の促進

— 主要事業 — 要求額(百万円)
○福祉のまちづくり公園整備事業・・・275 [みどりの推進部]

水とみどりのうらおいと安らぎのある街の実現

◎リラの花香る街づくり事業・・・54 [みどりの推進部]
◎みどりゆたかな都心づくり事業・・・35 [みどりの推進部]
○一家庭一植樹推進・・・12 [みどりの推進部]
○マイタウン・マイフラワー事業・・・4 [みどりの推進部]
○市民主体の公園等管理推進支援事業・・・3 [みどりの推進部]
○市民参加による都市緑化推進事業・・・2 [みどりの推進部]
○個性あふれる公園整備・・・322 [みどりの推進部]
○プレイリーダー育成事業・・・2 [みどりの推進部]

地球環境問題への対応と循環型社会の構築

○CO₂削減アクションプログラム事業・・・97 [環境都市推進部]
○都市再生プロジェクト支援・・・55 [環境都市推進部]
○新たな生ごみリサイクル検討事業・・・10 [環境事業部]
○事業系ごみリサイクルシステム構築事業・・・5 [環境事業部]
○篠路清掃工場延命化事業・・・825 [環境事業部]

北国らしいゆたかな暮らしの実現

◎冬の公園利用活性化事業・・・4 [みどりの推進部]

その他

ポイ捨て等防止啓発・指導事業・・・26 [環境事業部]

◎：新規事業 ○：バリエーション事業

● みどりのボリュームアップ

リラの花香る街づくり事業

札幌の木であるライラックの植樹を、市民との協働のもとに民有地や地域で推進するほか、併せて公園、学校、庁舎等公共施設用地においても進める。

みどりゆたかな都心づくり事業

都心部の街路空間において、沿道企業との協働によるフラワーポットの設置等による街路景観などの向上に努め、みどりゆたかな空間づくりに取り組む。

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費等の削減 89百万円
・施設運営管理費の見直し 366百万円
・団体補助金の見直し 1百万円

経済局

要求総額 88,490百万円
(対前年度 +3.3%)

< 要求の基本的考え方 >

中小企業を、資金及び経営基盤強化の両面から、きめ細やかに支援するとともに、厳しい雇用環境を踏まえ、雇用機会の創出や再就職支援の取組みを推進していく。

大学等の研究成果の集積など、札幌の産業資源を有効に活用し、高い競争力を有する新たな産業の創出・育成を推進していく。

	主要事業	要求額(百万円)	
中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援	札幌元気基金事業	2,424	〔産業振興部〕
	中小企業金融対策資金貸付	82,380	〔産業振興部〕
	コミュニティビジネスによる商店街振興事業	13	〔産業振興部〕
	中小企業支援センター事業	43	〔産業振興部〕
安心して働ける環境づくり	就業サポートセンター事業	111	〔雇用推進部〕
	若年層就業体験支援事業	78	〔雇用推進部〕
	コミュニティ型建設業創出事業	12	〔産業振興部〕
	中小建設業等経営資源活用型モデル事業	32	〔産業振興部〕
さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興	高度情報通信人材育成・活用事業	105	〔産業振興部〕
	デジタルコンテンツ産業化推進事業	35	〔産業振興部〕
	創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)推進事業	15	〔産業振興部〕
その他	サッポロさとらんど魅力アップ推進事業	23	〔農務部〕

：新規事業 ：バリエーション事業

● 札幌元気基金500億円確保！

元気小規模事業資金支援事業等

16年度から18年度までの3年間で500億円の資金枠の確保を目指す元気基金事業。18年度はさらなる資金枠の拡充を図った結果、3年間で目標の500億円を大幅に上回る582億円の資金枠を確保しました。

16年度 150億円(実績)
17年度 200億円(見込)
18年度 232億円(資金枠)
合計 582億円



ベンチャー支援事業

札幌経済を牽引するようなベンチャー企業等の創出を目指し、今年5月に設立した、「札幌元気ファンド」に続き、対象をより幅広い分野に広げたファンドの設立に取り組みます。

● 若年層の雇用機会の拡大

若年層就業体験支援事業

若年層に就業体験をする機会を提供するとともに、雇用機会の創出を図るため、受入れ企業の確保と受入れ企業への支援を行ないます。

● サッポロバレー(※1)の競争力強化

高度情報通信人材育成・活用事業

高度な知識や技術を有する情報通信の人材を体系的に育成し、技術力を公的に認証することで、首都圏や海外企業との結びつきを強め、情報通信産業の売上を飛躍的に伸ばします。



● 「札幌国際短編映画祭(仮称)」開催

デジタルコンテンツ産業化推進事業

今年7月にプレイベントを実施する等準備を進めてきた「札幌国際短編映画祭(仮称)」を18年夏に開催します。デジタルコンテンツ産業(2)集積に向けた基盤づくりを着実に進めていきます。



< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減	13百万円
・施設運営管理費の見直し	32百万円
・農業支援センターの試験調査課題の見直し等	19百万円

1 札幌市全域にわたる情報企業群集積の総体
2 パソコン等を駆使し、映像、音楽、ゲームなどのコンテンツを制作し、流通させる業種

観光文化局

要求総額 12,271百万円
(対前年度比 +16.9%)

< 要求の基本的考え方 >

魅力あるまちづくりの推進

集客交流の促進

2007年ノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催

協働による
観光振興と
コンベンション
事業の推進

ー主要事業ー

要求額(百万円)

さっぽろ雪まつり魅力アップ事業	35	〔観光部〕
藻岩山魅力アップ構想推進事業	31	〔観光部〕
集客交流・シティPRキャンペーン事業	45	〔観光部〕

芸術・文化の
薫る街の実現

芸術の森アーティスト2006事業費補助	64	〔文化部〕
さっぽろアートステージ事業	90	〔文化部〕
キタラファーストコンサート事業費補助	30	〔文化部〕

スポーツの
魅力あふれる
街の実現

2007年FISノルディックスキー世界選手権 札幌大会補助及び関連施設整備	4,603	〔スポーツ部〕
2006北海道国際ユースサッカー大会補助	10	〔スポーツ部〕
さっぽろスポーツキャラバン隊事業	8	〔スポーツ部〕

：新規事業 ：バリエーション事業

● ウィンタースポーツの活性化

2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会補助及び関連施設整備

2007年2月～3月に開催する「2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会」を市民参加のもとに盛り上げて成功に導くとともに、これを契機としてウィンタースポーツの振興につなげていきます。



● 多様な芸術文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

芸術の森アーティスト2006事業費補助

芸術の森の20周年を契機として、札幌のアートシーンの次なるステップに向け、芸術の森を中心に様々なイベントを展開するとともに、集客交流につなげていきます。



野外ステージの庇下部に仮設スタンド(600席程度)を設置し、小さな箱に見立てた「アートの玉手箱」を作り上げ公演を行う「(仮称)札幌アートボックス」を開催
国内最大級のジャズフェスティバルを目指し、「サッポロ・シティ・ジャズ」を開催

● 雪まつりの魅力アップに向けて

さっぽろ雪まつり魅力アップ事業



真駒内に代わる会場として「サッポロさとらんど」での開催が決定した「さっぽろ雪まつり」の、市民参加型プログラムの充実や自主組織による運営に向けた取組を行い、さらなる魅力アップを図ります。

< 主な見直し項目(効果額) >

・その他事務事業の効率化	20百万円
・施設運営管理費の見直し	285百万円
・学校開放利用料金の改定	49百万円
・団体補助金の見直し	7百万円

建設局

要求総額 59,260百万円
(対前年度 4.1%)

< 要求の基本的考え方 >

事務事業の抜本的な見直し及び再構築(必要最低限の義務的経費の精査や効率的、効果的な事業手法の検討など)
選択と集中の促進による計画事業の確実な推進
収納率向上に向けた積極的な取組みの推進

	一主要事業一	要求額(百万円)	
水とみどりの うるおいと 安らぎのある 街の実現	水と緑のネットワーク事業	113	〔土木部〕
	多自然型河川整備事業	55	〔土木部〕
北国らしい ゆたかな 暮らしの実現	冬の生活文化情報発信事業	12	〔管理部〕
	歩道の凍結路面対策による歩行環境の改善	31	〔管理部〕
	地域に密着した雪処理の推進	16	〔管理部〕
歩いて暮ら せる快適で美 しい街の創造	JR白石駅周辺地区整備費	760	〔土木部〕
	歩道バリアフリー化事業	845	〔土木部〕
	歩行者と自転車の共存する空間の創出事業	163	〔管理部〕
	札幌駅前通地下歩行空間整備	2,924	〔土木部〕
そ の 他 (一部上記 事業を含む)	円滑な道路交通の確保(主要幹線道路の整備など)	13,248	〔土木部〕
	安心・安全な道づくりの推進(あんしん歩行エリアなど)	6,440	〔土木部〕

：新規事業 ：レ・ルアップ事業

● 総合的自転車対策とマナー啓発の推進

歩行者と自転車の共存する空間の創出事業

年々増加する放置自転車に対応するため、これまでに駐輪場の整備や放置自転車の即時撤去などの対策を講じてきましたが、依然、路上に放置する自転車は多く見られます。今後も駐輪場の整備や「自転車等放置禁止区域の指定」などの対策を行うとともに、自転車利用に関するルールやマナーが利用者に浸透するよう啓発活動を推進します。

● 都心の再生に向け本格的工事に着手

札幌駅前通地下歩行空間整備 創成川通アンダーパス連続化事業

札幌駅前通地下歩行空間整備事業では、地下埋設物の移設工事や地下鉄さっぽろ駅の改修工事を引続き行い、樹木の移植工事や通路本体の工事に着手します。

2,924 百万円

創成川通アンダーパス連続化事業は、平成 17 年度に引続き、トンネル本体工事を行います。

4,595 百万円

● 効果的・効率的な雪対策の推進

除 雪

雪対策事業は「札幌市雪対策基本計画」に基づき、より効果的・効率的に除排雪、凍結路面対策などを実施します。

- ・狭小バス路線の除排雪 ・交差点排雪
- ・凍結防止剤散布 ・歩行者用砂箱設置など



14,537 百万円

< 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費の削減 386 百万円
- ・施設運営管理費の見直し 18 百万円
- ・道路維持管理や清掃レールの見直し 253 百万円
- ・道路占用料の改定等 70 百万円

都 市 局

要求総額 10,976百万円
(対前年度 22.5%)



< 要求の基本的考え方 >

厳しい財政状況の中、より公共公益性の高い事業を優先し、予算配分の重点化を図る。

活力に満ちあふれた都市の発展を目指し、調和のとれた良好な市街地整備を進めるため、都市再開発事業等による総合的なまちづくりを推進する。

少子高齢化社会に対応し、高齢者や障がい者をはじめ市民が安心して暮らせるための住宅の普及を促進する。

市有建築物の長寿命化を目指し、計画的な修繕への移行と予算の一元化を図る。

魅力あふれる地域づくりの推進	— 主要事業 —	要求額(百万円)
	菊水上町地区住環境整備事業	170 [市街地整備部]
地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進	住まいのプラットフォーム推進事業	7 [市街地整備部]
	既設市営住宅バリアフリー化事業	4 [市街地整備部]
	借上市営住宅整備事業	104 [市街地整備部]
	高齢者向け優良賃貸住宅供給事業	177 [市街地整備部]
地球環境問題への対応と循環型社会の構築	環境共生型公共建築物基礎調査業務	3 [市街地整備部]
	保全計画策定	8 [建築部]
	市有建築物評価業務	11 [建築部]
	市有建築物長寿命化推進事業	813 [建築部]
歩いて暮らせる快適で美しい街の創造	北8西3東地区再開発事業費補助	1,027 [市街地整備部]
	東札幌1条地区再開発事業費補助	273 [市街地整備部]

：新規事業 ：バリエーション事業

● 市有建築物長寿命化に向けた取組

市有建築物長寿命化推進事業

市有建築物の延命化を目指し、計画的な修繕への移行や予算の一元化を図るなど、今後の保全のあり方を示す長寿命化基本方針の実現に向け、次の取組を実施する。

- 1 市有建築物の中からモデルを選定し計画的な修繕を実施
- 2 計画的な修繕への移行前に実施すべき緊急性の高い施設の改修や修繕
- 3 大規模改修や建替えの基本計画や修繕計画の作成

● 障がいのある方が地域で快適に暮らすために

既設市営住宅バリアフリー化事業

既設の市営住宅について、エレベーターの設置の検討など高齢者や障がい者が安心して住んでいられるバリアフリー化に向けた取組を推進する。

< 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費の削減 118百万円
- ・市営住宅使用料等の見直し 205百万円

消防局

要求総額 5,021百万円
(対前年度 +2.3%)

「安全・安心を誇れる街さっぽろ」の創造

経営資源(施設・装備)の充実
各種災害への対応力の強化
救急救命等の充実

— 主要事業 —

	要求額(百万円)	
消防署所庁舎保全改修	93	〔総務部〕
はしご車重整備	21	〔総務部〕
消防車両購入	427	〔総務部〕
第35回全国消防救助技術大会実行委員会補助金	15	〔総務部〕
消防ヘリコプター点検整備	291	〔警防部〕
耐震性貯水槽整備	39	〔警防部〕
まちの救急スポット推進	1	〔警防部〕
救急車適正利用推進	3	〔警防部〕
救急業務高度化推進	50	〔警防部〕
救急隊増強整備	38	〔警防部〕

：新規事業 ：バリエーション事業

● 市民の命を守るために

救急隊増強整備

市民の命を守る救急車。
救急車の要請件数は、高齢化や核家族化の進展などにより、年々増加の一途をたどっています。
そこで、救急車を1台増強し、救急体制の充実を図り、出動要請に対して迅速的確に対応します。



● 救命率の向上を目指して

救急業務高度化推進

救急救命士の行う処置が拡大され、平成16年7月から開始された気管挿管に加え、平成18年4月から薬剤(強心剤)投与が可能となります。

このことから、救急救命士に対する気管挿管や薬剤投与の研修を行うほか、救急資材の充実を図り、救命率の向上を目指します。



< 主な見直し項目(効果額) >

- ・ 一般事務費等の削減 135百万円
- ・ 施設維持管理業務の見直し 15百万円
- ・ 冷暖房の抑制による節減 6百万円

教育委員会

< 要求の基本的な考え方 >

教育に期待する市民要望に的確に応えていくため、ソフト・ハード事業とも積極的に予算を計上する。

新まちづくり計画の重点事業や「教育推進計画」、「特別支援教育基本計画」といった教育委員会の諸計画を着実に推進する。

要求総額 32,859百万円
(対前年度 + 8.3%)

	一主要事業一	要求額(百万円)
自立した市民に育てる教育の推進	新しいタイプの定時制高校設置事業	36 [総務部]
	小中学校特殊学級整備	33 [学校教育部・総務部]
	スクールカウンセラー活用事業	158 [学校教育部]
	不登校対策の推進(相談指導学級事業)	34 [学校教育部]
	外国語指導助手関係費	205 [学校教育部]
さっぽろを支え、発信する人づくり	新たな生涯学習推進構想の策定	3 [生涯学習部]
	法廷復元した資料館の司法教育への活用 〔資料館運営管理費〕	45 [生涯学習部]
	図書館の開館日・開館時間の拡大 〔中央図書館・地区図書館運営管理費〕	72 [中央図書館]
重点事業	小中学校改築	5,338 [総務部]
主要事業	私立幼稚園就園奨励費補助	1,468 [総務部]
	私立学校教材教具等整備費補助	255 [総務部]

：新規事業 ：レベルアップ事業

● 環境に配慮し、地域に根付く学校づくり

平成19年3月竣工



老朽化した信濃小学校と伏見中学校を改築します。

整備にあたっては、バリアフリー化や施設の長寿命化を図り、環境にも配慮した外断熱施工を行うとともに、地域開放を目指して利用しやすい教室配置とします。

● 文化財を活用し、司法を学ぶ

法廷復元した資料館の司法教育への活用

平成18年度オープン



刑事法廷をはじめとする展示室や研修室において、本市の歴史・文化を学んでもらうほか、法及び司法に関する学習機会の提供を行います。

● 楽しく学校生活を送るために

スクールカウンセラー活用事業

不登校や問題行動の発生などの諸課題に対応するため、スクールカウンセラー等を全中学校・高等学校へ配置します。

外国人指導助手招致事業

外国語(英語)教育における生徒のコミュニケーション能力の育成、国際理解教育の推進を目的として、中学校と高等学校に外国人指導助手を配置します。

外国人指導助手
38人 41人



● 図書館利用者へのサービス向上をはかります

図書館の開館日・開館時間の拡大

中央図書館及び地区図書館(9館)の開館日・開館時間を拡大し、利用者サービスの向上をはかります。

あわせて、区民センター図書室については、指定管理者制度の導入により、開館日の拡大を行います。

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費(学校管理費等)の削減	539百万円
・施設運営管理費の見直し	157百万円
・学校等の光熱水費の見直し	51百万円